

3 ハムログ入力 達人への道

運用中にリアルタイムでハムログにデータを入力するとき、または受け取った QSL カードやログからデータを入力する際、マウスやタッチパッドを使って入力ウィンドウへカーソルを移動するのになかなかどり着かず、イライラしませんか？ または、保存するまで Enter キーを連打していませんか？ そんな悩みを解決するのが本章です。入力したダミーのデータは、後で削除できますから安心して練習が行えます。



3-1

わざ この業と設定は マスターすべし！

本項では、キーボードの入力操作の省力化とスピードアップを図ります。

本章に掲載の各図と、パソコンに映し出された実際の画面を同時に見ながら、実際に操作してみましょう。



1 ハムログのメニューバー
矢印で示した () 内の文字がキーワード！

3-1-1 ^{はやわざ} 超早業！ Alt キーを使った ウィンドウの瞬間移動

図 **1** に示すように、ハムログの画面で一番上のメニューバーを見ると、左から、「ファイル

「F」, 「検索(S)」, 「オプション(O)」, 「表示(V)」, 「ヘルプ(H)」と表示されています。これらの括弧の中の文字が達人への道の鍵です。

図2に示すように、キーボードの「Alt」キーを押してから「F」キーを押してみると… あら不思議! 今まで苦労してたどり着いていたのがウソのようです。

メニューが出たら、今度は「Alt」キーを押さずに「B」キーを押すと… 図3に示すように、QSOデータのバックアップ画面が表示されます。

このように「Alt」キーを使う癖を付けると、マウスやタッチパッドの操作をしなくて済み、ストレスが大いに軽減されます。

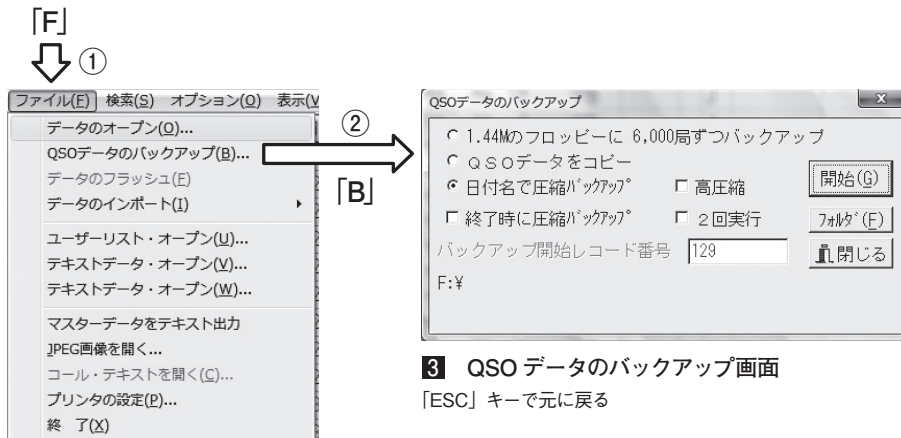
なお、入力や訂正するウィンドウが開いているときに「Alt」キーを押すと、ウィンドウが一時

的に消えてしまいます。もう一度「Alt」キーを押せば戻ります。このときは、「Alt」キーを押しながら「F」とか「M」など目的のキーを押します。なお、データの保存は「F12」キーだけでも可能です。

3-1-2 QTHの入力はカーソルがどこにあってもOK

QTHの入力は、カーソルがどこにあっても、ショートカットを行うキーを押せば入力できます。

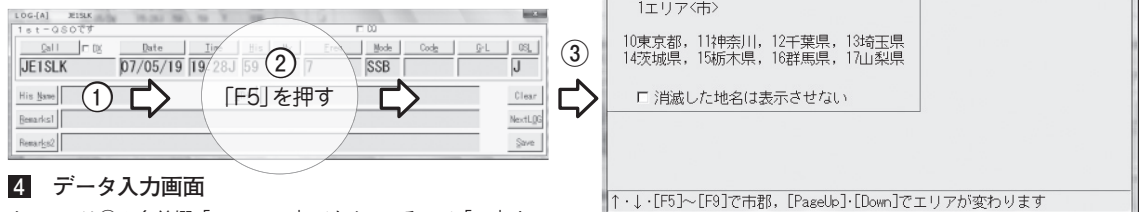
試しに、図4に示す画面を表示させたら、名前の欄(His Name)にカーソルを置いて、「F5」キーを押してみると… 図5に示すように、市の入力ウィンドウが現れます。



3 QSOデータのバックアップ画面
「ESC」キーで元に戻る

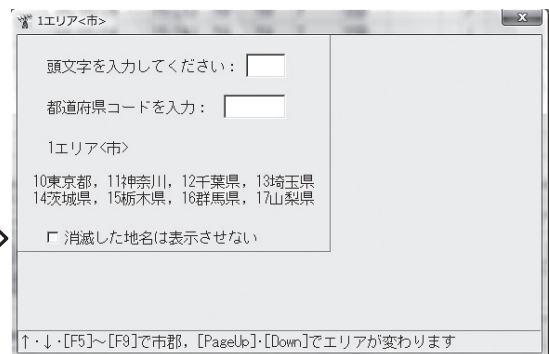
2 ファイルのメニューバー

①の「ファイル」から②の「QSOデータのバックアップ」を指定する



4 データ入力画面

カーソルは①の名前欄「His Name」でもよい。そこで「F5」キーを押すと 5 に示す、市の入力画面が現れる



5 市の入力画面 図は、1 エリアを示したもの